令和７年度郡山市立薫小学校便り

薫っ子だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」

令和７年７月１５日
学校便りＮｏ１７
文責：校長　新田直子

豊かな体験活動

☆６年修学旅行

６年生は会津若松市内への修学旅行を行いました。６年生はこの修学旅行に向けて、会津の歴史を調べたり、班ごとのフィールドワークの計画を立てたりと、協力し合って意欲的に準備を進めてきました。会津若松市内のフィールドワークでは、七日町や飯盛山、武家屋敷などの見学や、絵付けやガラス彫りなどの体験活動等、計画してきた活動を班ごとに力を合わせて思う存分楽しんでいました。昼食も、それぞれの班ごとに予約したお店で、ソースかつ丼やラーメンなど美味しい会津のごちそうを味わっていました。修学旅行を通して、自主的に互いに協力し合って活動する姿、「気づき・考え・行動する」子どもたちのすばらしい姿が多く見られました。保護者の皆様におかれましては準備など大変お世話になりました。ありがとうございました。詳しい活動の様子を学校ホームページに掲載してありますのでぜひご覧ください。

☆４年郷土を学ぶ体験学習

４年生は７月１１日に「郷土を学ぶ体験学習」を行いました。富久山清掃センターでは、４年生の社会科で学習しているごみの処理について、ビデオを視聴したり、実際にごみ処理の様子を見学したりしながら詳しく学ぶことができました。ふれあい科学館では、展示ゾーンでは無重力体験や光に関する実験を楽しく行うことができました。プラネタリウムでは「月と星の動き」を鑑賞しました。理科で学習している星座について理解を深めることができました。保護者の皆様、持ち物の準備等にご協力ありがとうございました。

小さなことから全力投球
～当たり前のことを当たり前に～

毎朝校門に立っていると「おはようございます。」「行ってきます。」「いつもありがとうございます。」など、薫っ子のみなさんの元気な挨拶にパワーをもらっています。あいさつや返事、履き物を揃えること等は、誰にでもできる「当たり前のこと」小さなことだと思われがちですが、この「当たり前のこと」小さなことに全力で取り組めることは、素晴らしいことだと思います。１つ１つは小さなことかもしれませんが、小さなことにも全力で取り組もうとする姿勢は、やがて大きな力となって、大変なこと、困難なことにも立ち向かう力となって子どもたちの心に蓄積されると考えているからです。

そのような力は学校教育だけで育つ力・習慣ではなく、家庭や地域の大人の姿を見て、まねるように身につく力です。「子どもは大人（親）の姿を映す鏡」という言葉があるように、私たち教職員を含めて子どもに関わるすべての大人が、子どもたちのお手本となるよう心がけていきたいと思います。